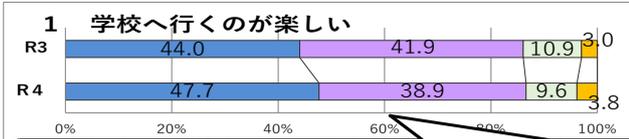
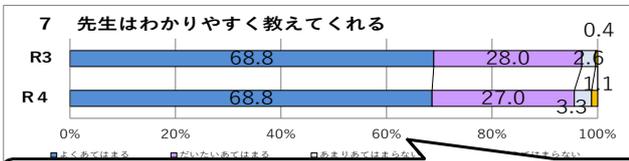
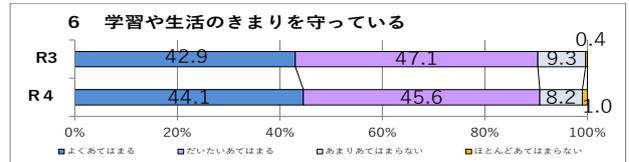
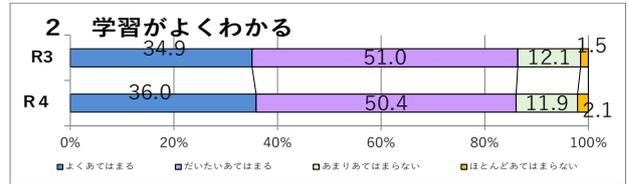


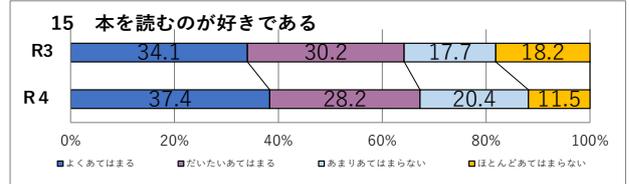
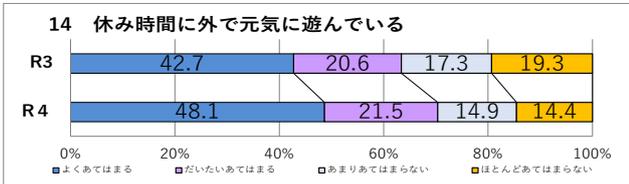
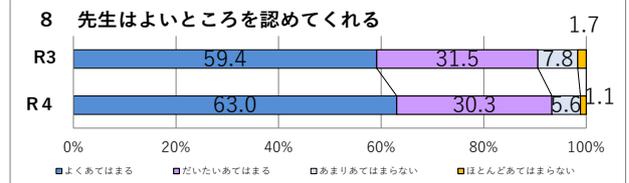
学校生活・学習理解について



今年度は、通常の学校生活に戻りましたが、学級閉鎖や個人的なお休み等、学習活動に制限のある時期がありました。子どもたちも一人一人違うストレスを抱えていることでしょう。個別に寄りそい話の聞ける関係を作っていかなければと考えます。

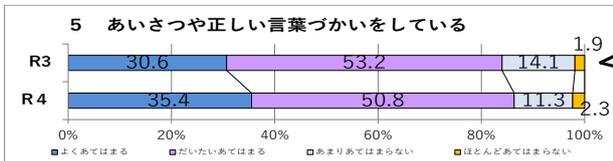


「よくあてはまる」「あてはまる」と答えた児童が95.6%と高いです。タブレットPCの活用が定着したことで、学習活動の平常化のおかげではないかと考えます。

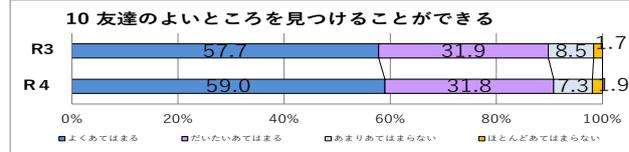
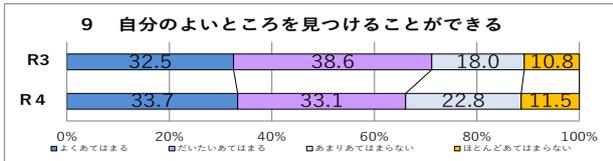


生活面の落ち着きと充実が基本となり、学力向上につながると考えます。また、教員との信頼関係も大きく関係しています。ほとんどの児童が、安定した生活を送れているようですが、個別には課題を抱えていることも見逃さず、適切な対応ができるよう取り組んでいきたいです。

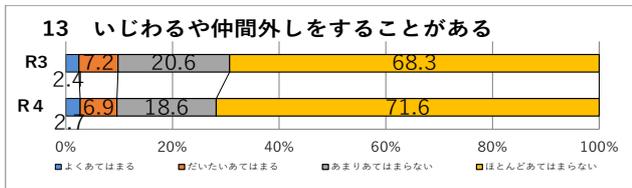
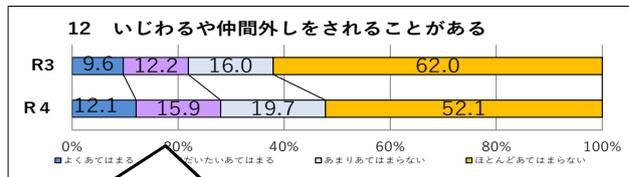
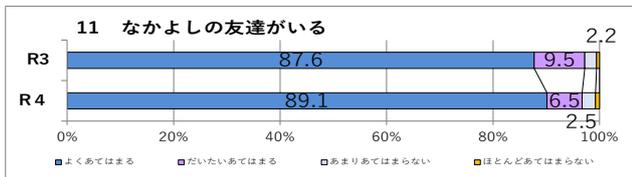
交友関係について



自ら進んでのあいさつは、まだまだ十分ではないようです。あいさつが自然にできるためには、相手をよく知ることも大切だと感じます。心のふれあいが生まれるような学習活動を増やしていきたいです。



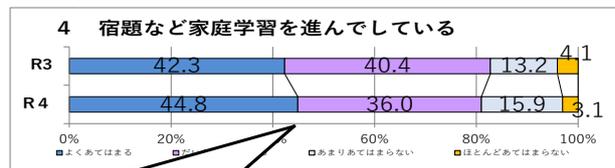
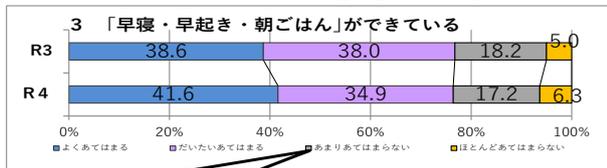
9・10の「よくあてはまる」が増えているのは喜ばしいことです。強く優しい子どもたちに育てるため、学校では協働的な活動や、仲間づくりや人権意識を高めるための道徳や人権学習を強化するなど、これからも取り組んで行かなければならないと思います。



項目12の「いじわるをされることがある」が少し増えています。子どもどうしの触れ合いが増えたためだと思われますが、自分の気持ちをコントロールするスキルを身につけることや、温かい言葉が飛びかうような学校を目指していきたいです。

今年度の集会活動もほとんどできず、できてもオンライン（動画の発表等）での視聴で、一方的な活動になりがちでした。密をさけるため、学年内での関わりも最小限に留めてきました。こういう生活スタイルに少しずつ慣れてはきましたが、このことが円滑な学級経営や人間関係づくりに影響していることもあるでしょう。しかし、コロナ禍のせいにはせず、互いの人権が尊重され、偏見や思いこみのない正しい見方ができ実行できる力を付けさせたいと思います。

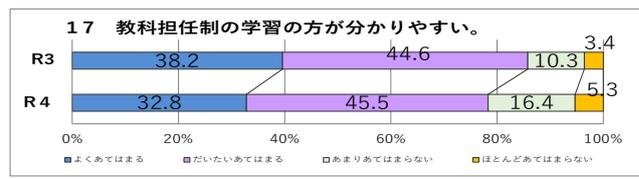
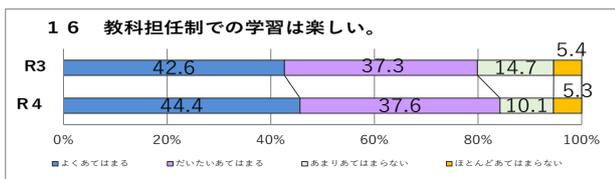
家庭生活・生活習慣について



「朝ごはん」は体のスイッチを入れる大切なものです。できるだけ100%に近づけるため、引き続きご協力をお願いします。

昨年度に比べて「よくあてはまる」が少し増えています。家庭での時間の使い方（テレビやゲームの時間等）については、引き続き家庭で話し合っていたいただきたいと思います。

教科担任制について（高学年のみ）



今年度で教科担任制は4年目が終わりました。項目16・17共に、「よくあてはまる」「あてはまる」が8割程度とよい傾向にあります。中1ギャップに備え、準備ができつつあります。しかし、担任との距離がなかなか埋められない児童もいるようですので、そのような児童に寄りそえるよう支援していきたいと思います。

今年度の教育目標は昨年度に引き続き「学び合い笑顔あふれる学校」です。教職員の研修としては、授業力向上や「コンプライアンス」関係の研修に力を入れてきました。また、児童が抱えている問題等の共通理解の会も重ねてきました。まだまだ学習規律の習慣化、生活面でのルールの徹底等課題はあります。主体的に学習する環境作りや働きかけにも努め、細かい指導を徹底していきたいと思えます。保護者の皆様との信頼関係の構築に向けてますます精進していきたいと考えております。1年間大変お世話になりました。来年度もよろしくお願ひいたします。